

平成30年度 いちいの杜 施設目標

スローガン ”地域包括ケアシステムと連携を密にし、

超強化型老健としての役割を担っていく。”

- 1 R-4システムを活用して業務の効率化を高めていく。
- 2 生活リハビリに沿った日常介護の実践。
- 3 デイケアでの生活リハビリの継続と在宅療養の質の向上。
- 4 地域包括支援センターとの連携強化。

巻頭言

理事長 金光 弘

明けましておめでとうございます。今年は年始から、昨年の反省からスタートするはめに陥ってしまいました。昨年は日々の業務の繁雑さと人手不足などで介護現場は多忙を極め、職員の疲弊は目を覆うばかりで、退職者が増大した一年となってしまったのである。

当初から予想はしていたものの、これほどひどい状況に陥るとは思ってもいなかった。いろいろと対策を打ち出して事に当たっていたが、退職者を止まらせるには至らなかった。

年度目標として『ケアプランを基にした業務内容の見直しと、各部署の更なる連携を計り、無駄のない介護を実践していく』と掲げたが、全く消化されずに一年が過ぎてしまった。3年前に導入した電子カルテのR-4を日常業務に取り入れることすら十分に行われず、旧態依然とした業務がまかり通っているのである。これでは日々増え続ける日常業務をこなしていくことに汲々としてそれ以上の更なる飛躍は全く望めないのである。

今年度も全く同じ目標を掲げようと思う。昨年度の反省から業務を見直し、既に動き出した部署も見られ、その成果も出てきている。今年は研修生の一期生3人が介護福祉士の国家試験を受けることができた。介護福祉士の段位有段者が新たに2人誕生した。2、3階の療養棟でフローケアマネージャーがその役割を發揮し始めた。看護師の2グループ体制を作ることができた。今年こそ職員全員が同じ方向に向かって超強化型老健としての介護を担っていきたい。高齢者施設での仕事は一人ではとても大変だが、皆で事に当たるととてもやりがいのある楽しい仕事なのだ。そんな職場に戻ることを願っている。

逆風が吹いていても・・・

施設長 浜田 篤

明けまして、おめでとうございます。寒さが厳しくなり、介護業界全体でも厳しい風が吹いている状況ですが、こんな時こそしっかりと足掛かりを踏みしめて、前に進んでいきたいと思えます。

さて、しっかりと足掛かりとは何か？それは今までそれぞれが積み上げてきた仕事上のノウハウであり、成功体験であり、問題解決能力だと思えます。

これらは経験によって個人の中に蓄積されていくので、勤続年数が長い人ほどいろいろな場面に臨機応変に対応できるようになります。そして更に、経験によって個人に蓄積されたものが、他の人へ伝承されていくことが必要です。先輩から後輩へ、ベテランから初心者へ。または同僚の間でお互いに情報交換しながら、より良いアイデアを生み出していく。これができてこそ、グループ全体のパフォーマンスが向上して、良い結果が効率的に出せるようになります。過去から積み上げてきた経験をじっくり吟味し直して、良いものをお互いに伝え合い、学び合う。そのような姿勢で今年も前進していきたいと思えます。

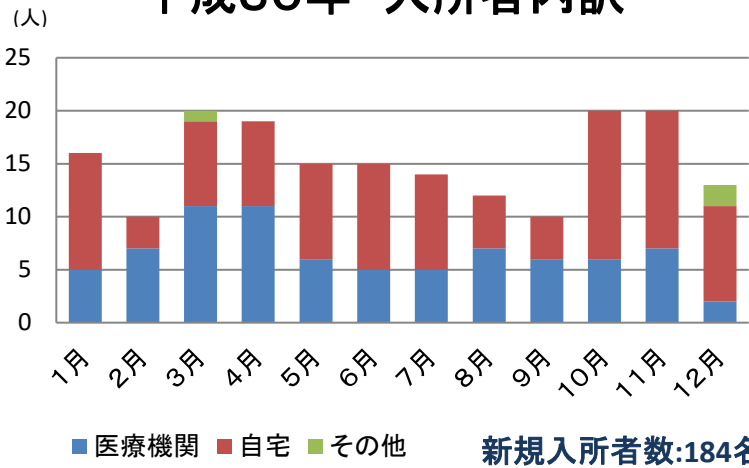
他職種との関わり

理事 飯塚 和子

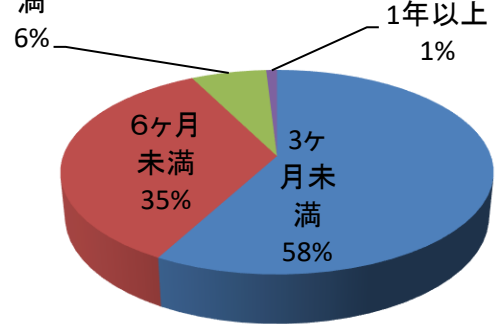
新年明けましておめでとうございます。

去年の12月、看護大学の学生がいちいの杜に看護実習にきました。老健では多職種のスタッフが集まり、利用者のケアを考え技術を出し合って活動しています。それが『病院との大きな違いだと思った』と学生は言っており印象的でした。日々、多職種が集まってケアプランの検討をする時に、他職種から見落としていた内容の指摘があり反省させられることがあります。又、利用者の最も近い位置にいる介護士の気付の細やかさにはっとさせられる事もあります。各専門職は他職種の考えや活動を理解しつつ特性を發揮していく、この積み重ねが老健らしさであり、質を上げる取り組みだと考えています。今年もいちいの杜を取り巻く環境は多くの困難があるだろうと思われませんが、自分の力を信じ、互いに認め合い、協調して乗り切っていきましょう。本年もよろしくお願いいたします。

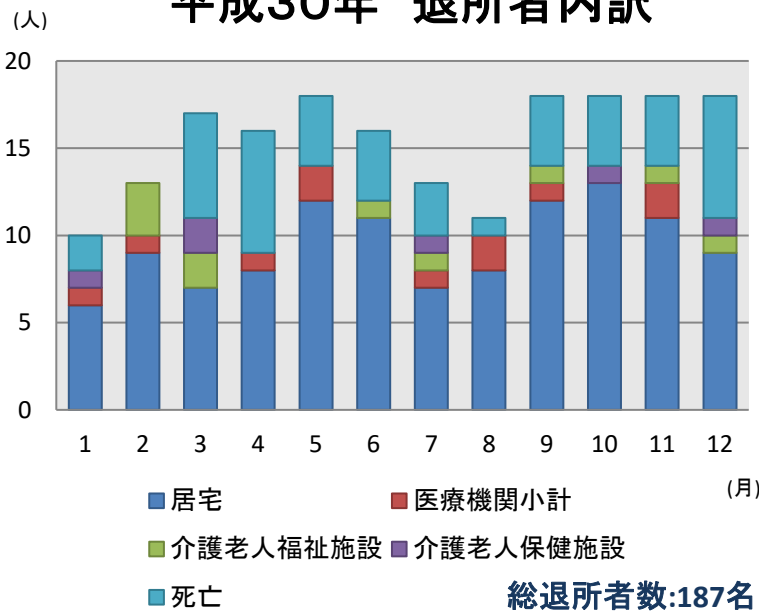
平成30年 入所者内訳



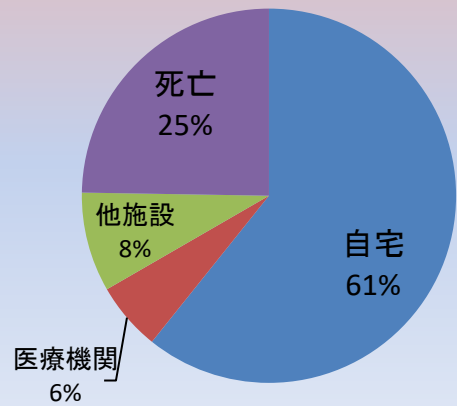
在宅復帰者 在所日数(平均98日)



平成30年 退所者内訳

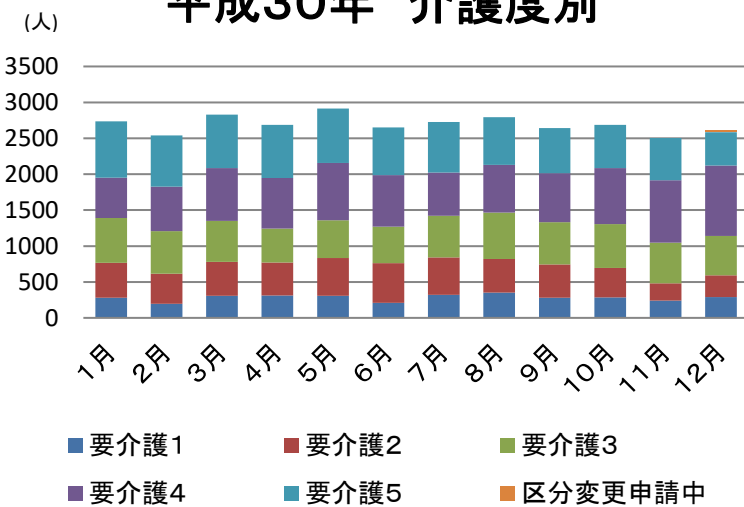


平成30年 退所者内訳



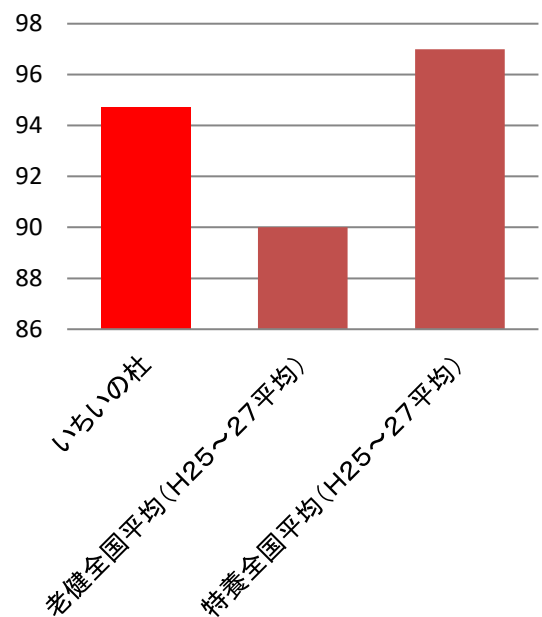
在宅復帰率75%(99名)

平成30年 介護度別



平均介護度3.4(全国平均3.2)

H30年のベッド利用率 (%)



新年のご挨拶



看護部部长 佐藤 幸恵

新年明けましておめでとうございます。
本年も超在宅強化型老健として忙しい一年がやってきます。
利用者が住みなれた環境の下で、安全で安心して穏やかな生活が過ごせるよう、私達看護部としても直接業務で関わる以外の他職種とも連携を図り、看護師として情報が欠けることなく、援助できるようにしていきます。
そういった意味では、施設内だけの共有だけではなく、訪問看護とのコミュニケーションも当然のように必要です。
老健はリハビリができることが大きな特徴です。安心してリハビリに集中できることで、望まれる在宅復帰への道も見えてくるのだと思います。医療だけでは利用者さんを支えることができないことをわきまえつつ、それでも医療サポートがあることで、利用者本人だけではなく、ご家族も安心感を持ってもらえることを忘れないようにしたいです。
本年もよろしくお願い致します。



介護部部长 原 彰宏

皆様、あけましておめでとうございます。
介護保険制度の改正に伴い、「介護保健施設」を取り巻く環境も年々変化しています。
介護業界全体では深刻な人員不足が続いており、当施設にもその余波が押し寄せてきています。介護はチームプレイです。利用者を中心に置き、ドーナツ型に取り囲むように介護・看護・リハビリ・医師・ケアマネージャー・管理栄養士・薬剤師等が一つのチームとなり、ケアできるのが介護老人保健施設の強みです。
何かが欠けてもチームケアはできません。前号で書かせて頂いた「情報共有」を密にする事でチームケアが成り立ちます。介護部単体では厳しい状況ですが、チームケアで協力しながら乗り切っていきたいと思います。
スタッフを大切に、新たな仲間を増やし、より一層質の高いケアができるよう、私にできることを精一杯やっていきたいと思っています。
至らない点ばかりではございますが、本年もご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



相談部部长 白田 悦子

明けまして、おめでとうございます。
今月で、介護報酬と医療報酬のダブル改定から約10ヶ月が経過し、医療機関も自宅退院を強化しています。
新規入所者も治療の途中で入所、治療を継続し、それからリハビリを開始するケースが増えています。
いちいの杜では、在宅復帰後も繰り返し利用する利用者が多く、12月から冬期の療養目的での再入所や、年末年始に訪問系のサービスがお休みになるといった理由で独居の利用者がショートステイに入ってきます。
同窓会のように再会を喜んでいらっしゃる光景を見かけました。
平成30年の実績として、在宅復帰率75%、在宅復帰者の平均入所期間98日、平均在所日数186日でした。
今年、相談部としては、各部署との連携を強化し、ご家族がケアプランをみれば、どういう介護を受けているかが分かるように介助の方法についてもプランに反映させていこうと考えています。

新年のご挨拶



リハビリテーション部部长 徳岡 美鈴

あけましておめでとうございます。
今年も今年にちなんで、一歩ずつでもまっすぐ前に進めるように、リハビリテーションスタッフ各々が、昨年より進歩することを目標にしたいと思っています。ご利用者様が満足できるリハビリテーションを提供できるよう、取り組んでいきます。

また、リハビリはケアプランを先行して実施していくことになるので、「R4」を用いて、利用者様の日常生活動作能力や認知・精神面などを評価し、機能訓練後の達成度を他職種間で報告、情報共有し、さらにフィードバックして、リハビリの専門的なサービス提供をしていくことで、在宅復帰や在宅生活維持に貢献していきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



栄養部部长 高木 美樹

新年あけましておめでとうございます。
昨年もしっかり食事が摂れるようになって、リハビリをして元気になって在宅復帰される方をたくさん見てきました。「〇〇美味しかったよ」「いつもご飯作ってくれてありがとう」など皆様からの声が日々の活力となっております。他部署と連携を図りながら、一人でも多くの方が在宅復帰できるよう食事面を中心にサポートに努めていきます。本年も、季節感を感じられるようなメニューであったり、色々な食事のイベントを設けたりして、利用者の皆様が元気になれる食事を提供出来るよう励んで参ります。宜しくお願い致します。



事務長 川田 隆広

事務部のスローガンは「スクラップ&ビルド」です。
生産性や効率性の低いもの、新たなツールや手法で改善できるものならば一度ゼロベースで見直し(スクラップ)、持続可能なシステムの再構築を実行する(ビルド)ことをテーマに掲げて参ります。
在宅復帰を強く支援する老健において、人材(職員の皆様)は大きな資産であると意識しています。そのためには、施設にとって本当に必要な業務に注力するために、現場が入所者さんへより良いサービスを提供するために、支障となるようなハード及びソフト両面について着手して、その場しのぎではなく持続的に充実できる仕組み作りを目標に努めて参ります。一年で全てを刷新することはできませんが、その足がかりとなるような一年を目指します。
改めまして、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。



新入職員紹介

新たに以下の職員が仲間に加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

介護部



本間 成勝



池上 千恵子

事務部



星野 明子

医療法人社団弘樹会
介護老人保健施設 いちいの杜

住所 東京都昭島市武蔵野3-5-63
TEL/FAX 042-500-0151/042-500-1533
ホームページ <http://www.kanemitsu-c.or.jp/>
Email ichiinomori@nifty.com